

日本海洋学会 2014年度第6回幹事会 議事録(案)

日時：2015年1月23日(金) 13:30~17:30

場所：東京海洋大学 品川キャンパス 9号館 203号室

出席者：植松会長、須賀副会長、岡、小畑、川合、神田、久保田、河野、杉崎、鈴木、津田、原田、日比谷、山中、寄高、事務局・毎日学術フォーラム(小野、平坂)、石坂(オブザーバー)

議題：

1. 議事録(案)確認(川合幹事)

2014年度第5回幹事会の議事録を承認した。

2. 審議事項

(1) 入退会について(岡幹事)

資料にもとづき2014年10~11月の入退会を承認した。会員数に大きな変化はなかった。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について(岡幹事)

後援・協賛・公募・推薦・転載許諾などの依頼について、適宜MLを通じての周知、対処を行ったことが報告され、承認された。

(3) 受賞記念講演の座長について(岡幹事)

春季大会における受賞講演の座長候補が提案され、承認された。

(4) JO編集委員の承認について(日比谷幹事)

本年度末をもって郭、神田、木暮、Dai、Fei各編集委員が退任することに伴い、新編集委員として広瀬、丹羽、浜崎、平譚、乙坂各会員が承認された。海外の編集員2名の後任については現在選考中である。

(5) 2015年度春季大会シンポジウム及びナイトセッションについて(鈴木幹事)

申請のあったシンポジウム8件、ナイトセッション3件の開催および共催について全て承認した。

(6) 青い海助成事業について(鈴木幹事)

本年度の青い海助成事業の公募に対して応募がなかったことから、今後の対策について議論した。本件は今後の委員会および幹事会での審議継続事項とする。

(7) 広報活動におけるネットワーク管理体制について(杉崎幹事)

学会ウェブサイトの管理やパンフレットの更新など、継続が必要な作業に対応するため、広報担当幹事2名による広報委員会を設置することが提案され、承認された。初代委員長は原田幹事とする。活動内容の詳細等については広報幹事が検討し、次回幹事会及び評議委員会で報告することとなった。

(8) その他

(石坂氏) リモートセンシング学会主催「海洋と宇宙の連携シンポジウム」の

共催について提案があった。分担金の金額など詳細が不明なことから、さらなる情報を集めた後に審議に諮ることとした。

(須賀副会長) 若手会員の海外渡航援助について、来年度は旧海洋未来技術研究会からの寄付金により実施し、再来年度以降の恒久的な支援事業としての継続・予算については次回春季大会の評議会で審議することとした。また、2015年度春季大会の総会において、元会長である岩宮会員に感謝状を手渡すこととなった。

(寄高幹事) 会員情報更新のためのウェブ登録システムの利用について審議し、承認された。来年度の予算に計上する。

3. 報告事項

(1) 会長 (植松会長)

大型研究に関するワークショップへの参加、2月末のG7サミットで配布する声明文に含まれる「Future of the ocean」の記載内容についてのコメントを提出したこと、若手育成・他学会との交流、会員特典の拡充、財政の健全化について報告があった。

(2) 副会長 (須賀副会長)

旧海洋未来技術研究会からの寄付金で宇田賞のメダル10個を作成すること及びその費用について報告があった。

(3) 庶務 (岡幹事)

JOのトークンの配布、各賞推薦書の確認について報告があった。

(4) 会計 (寄高幹事)

次回幹事会までに予算案・決算案を作成する。大会運営金を半年前に渡しているため、2015年度春季大会分も決算に入れて計上する予定。

(5) 編集

① JO (日比谷編集長)

順調に刊行している。3つの特別セッション号の編集作業も順調に進められている。

② 海の研究 (久保田編集長)

24巻1号を発行した。論文投稿数が少なく、現在審査中の論文は4報。

③ NL (津田編集長)

Vol.4-No.4の準備中。

(6) 研究発表 (鈴木幹事)

次回評議会、2016年度春季大会及び秋季大会の開催について審議に諮る。2014年度秋季大会実行委員会より、大会運営の修正報告がなされ、大会準備金の残預金(余剰金)の返還と寄付があった。

(7) 選挙 (山中幹事)

2015 年度、2016 年度の役員選挙、幹事選挙、各賞選考委員選挙および各賞可否投票の結果について報告があった。

(8) 教育問題研究会（川合幹事）

3 月 21 日に第 15 回海のサイエンスカフェを開催する。会長交代を次回の評議員会の審議事項とする。

(9) 地球惑星連合（原田幹事）

2015 年度の大会では海洋関係のセッションが 9 件あり、発表募集中である。

(10) 震災対応（津田幹事）

1 月 9-10 日に震災関連シンポジウムがあった。「水圏の放射能汚染」という本が発刊される。

(11) 水産・海洋学研究連絡協議会（津田幹事）

11 月にシンポジウムが開催された。

(12) 若手支援（須賀副会長）

今年度始めた若手支援を来年度も継続する予定。

(13) 大会運営検討 WG（鈴木幹事）

メールによる検討を進め、1 月 30 日に WG を開催する予定である。また、大会期間中にシンポジウム等を開催している団体を対象にアンケート調査を実施している。

(14) 海洋観測ガイドライン編集委員会（河野委員）

第 1 回会合を行い、著者に執筆を依頼した。

(15) その他

(岡幹事) 2015 年度末に現在の特別会員が全員終身会員に移行する。2016 年春季大会時の総会で会則を変更する予定

(石坂氏) 名古屋大学において新たに設立される「宇宙地球環境研究所」についての紹介があった。

(河野幹事) 気象学会による書籍「地球温暖化-そのメカニズムと不確実性-」が好評で、海洋版の発行について出版社から会員に打診があった。

次回幹事会（新旧幹事会メンバー合同）の開催日時は未定